こんなときは 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(F3W・F3・F2・F1以外)(P.38)「オートふた開閉」(F2・F2A・F1・F1A以外)(P.40)を「切」にしてください。

凍結予防のしかた

1 止水栓または元栓を閉める

- 給水が止まる

⚠注意

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない

(水が噴き出す原因)

●水抜栓がある場合

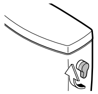
- 水抜栓を操作して給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く

- 水が流れなくなるまでレバーを回す



3 ノズルきれい 押す

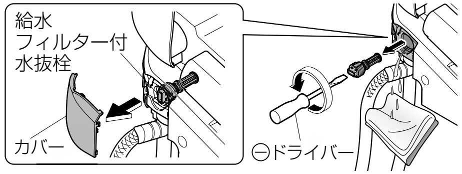
- ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

4 電源プラグを抜く

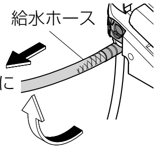
5 配管の水を抜く

①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

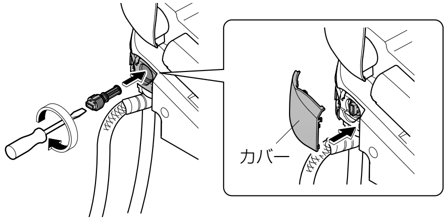


②給水ホースの水を抜く



③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」にする(P.22)

- 保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- 再通水が必要です。(P.53)

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)

水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く(P.52 手順 ❶ ❷)

2 ノズルきれい 押す

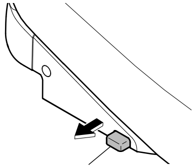
- ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

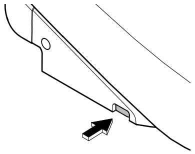
4 配管の水を抜く(P.52手順 ❺)

5 水抜きレバーを引き出す

- ノズル付近から水が出る(約20秒)



6 手を離し、水抜きレバーを元に戻す



■凍結のおそれがあるときは

- 便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- 再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける または、水抜栓を操作して、給水する

- 配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

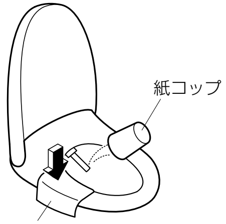
2 電源プラグを抜いているときは 電源プラグをコンセントに差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

3 ノズルから水を出す

①便座の左側を押したまま、
②リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
- 水は紙コップなどで受けてください。

③リモコンの「止」ボタンを押す



■残水が凍結して水が出ないとき

- トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

必要なとき